

令和元(2019)年度
とちぎの元気な森づくり県民税事業
評価報告書(概要版)
～ 森林環境譲与税との一体的評価 ～

令和 2(2020)年11月
とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会

- 令和元(2019)年度に国の森林環境譲与税が創設されたことに伴い、本県ではとちぎの元気な森づくり県民税と森林環境譲与税の用途の整理を行いました
- 今年度から、これまでの県民税事業の評価に加え、税の透明性や公平性の観点から両税の一体的な評価を実施しました
- 森林環境譲与税については、「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」において、その用途を公表することとなっているため、県森林環境譲与税は、本評価報告書の公表をもって、用途の公表として扱うこととしています

お問合せ先

栃木県環境森林部環境森林政策課

TEL : 028-623-3302

FAX : 028-623-3259

e-mail : kankyo-shinrin@pref.tochigi.lg.jp



1 評価結果

□ 総合評価

- 令和元(2019)年度とちぎの元気な森づくり県民税事業については、重点取組である森林の若返り(皆伐後の再造林等)をはじめ、各事業とも適正かつ着実に実施され、本県森林の公益的機能の維持増進に効果を発揮した。
- とちぎの元気な森づくり県民税事業と森林環境譲与税事業の取組は、本県の森林・林業の課題に対応し、適正に実施されていた。

□ とちぎの元気な森づくり県民税事業の評価

1 とちぎの元気な森づくり未来の森整備事業

針葉樹林の皆伐後の再造林や広葉樹への樹種転換等、森林の若返りを支援するものであり、計画395haに対して実績374ha(実施率94.6%)となった。

2 とちぎの元気な森づくり木造木質化等事業

中大規模建築物の木造・木質化等を支援し、木に親しむ環境づくり及び県産材の利用促進を図るものであり、公共施設や民間集客施設等7施設の木造・木質化や、学校等18施設において、木製品整備が行われていた。

3 とちぎの元気な森づくり里山林整備事業

地域団体等が行う里山林の整備を支援し、住民の生活環境を保全するものであり、通学路の安全確保や獣害対策などを目的に、すべての市町で計2,524haの整備・管理が行われていた。

4 とちぎの元気な森づくり森林所有対策事業

境界や所有者が不明な森林の境界等を明確にし、森林を適正に管理するための基盤を整備するものであり、栃木県森林組合連合会による地籍調査事業(2市3地区278ha)に支援が行われていた。

□ とちぎの元気な森づくり県民税事業と森林環境譲与税事業の一体的評価

とちぎの元気な森づくり県民税と森林環境譲与税については、令和元(2019)年度に用途の適切な整理がなされた。令和元(2019)年度は用途の整理中であったため、法の趣旨に明らかに合致するものについて譲与税事業として実施されていた。

なお、森林環境譲与税が導入され、まだ1年目の実績であるが、約79%が基金積立金となっているため、市町における森林経営管理制度の円滑な運用と森林環境譲与税の効果的な活用に向け、今後も県の積極的な支援が重要と考える。

2 県民税事業の主な取組成果

1 とちぎの元気な森づくり未来の森整備事業

利用期を迎えた森林について、「植える→育てる→伐る→使う」という森林本来のサイクルを回復させ、森林の公益的機能の維持・向上を図るため、皆伐後の再造林や樹種転換などを支援して、森林の若返りに取り組みました。

○ 再造林・樹種転換促進事業

造林事業

針葉樹の皆伐後の地拵え、植栽、下刈りを行い、針葉樹の再造林及び、広葉樹への樹種転換を進めました。

区分	面積	市町
地拵え、植栽	374ha	16市町
下刈り	579ha	15市町



獣害対策促進事業

植栽した苗木への薬剤の散布等によりシカからの食害を防止しました。また、成木の幹にネットを巻いてクマ等による皮剥き被害を防止しました。

区分	面積	市町
食害対策	427ha	8市町
剥皮対策	368ha	4市町



2 とちぎの元気な森づくり木造木質化等事業

県産木材の利用促進のため、多くの人々が利用する公共施設、集客施設、商業施設等の木造・木質化や木製品の整備等を支援し、木に親しむ環境を作りました。

(1) 木造・木質化支援事業

中大規模建築物における県産木材の利用促進のため、市町、民間事業者による建築物の木造・木質化を支援しました。

区分	木造化	木質化	計	市町
市町	-	1件	1件	1市町
民間	4件	-	4件	4市町
施設数	4件	1件	5件	5市町

市町計は実市町数



3 とちぎの元気な森づくり里山林整備事業

里山林の価値の掘り起こしや、通学路等の安全の確保、イノシシなどの野生獣被害軽減のため、地域住民等が行う刈り払い等の活動や、地域による里山林の継続的な維持管理を支援し、民家周辺の里山林を明るく安全な森林にしました。

区分	面積	市町
里山林整備事業	772ha	21市町
里山林管理事業	1,752ha	21市町
計	2,524ha	25市町

市町計は実市町数



4 とちぎの元気な森づくり森林所有対策事業

所有者等が不明な森林を適正に整備・管理して森林の公益的機能を持続的に発揮させるため、栃木県森林組合連合会によるリモートセンシング技術を活用した地籍調査事業（2市（大田原市、那須烏山市）、3地区、278ha）に対し、支援を行いました。

5 とちぎの元気な森づくり県民会議等事業

「とちぎの元気な森」を次の世代に引き継ぐための県民運動や事業の普及啓発活動等を実施しました。



6 とちぎの元気な森づくり地域活動支援事業

県民の皆さまが森づくり・森林に親しみ、県民協働の森づくりを促進するため、地域での森づくり活動や森林環境学習を支援しました。



3 基金及び財源、事業実績の概要

i 基金及び財源

1 とちぎの元気な森づくり基金の状況			
(単位：千円)			
平成30年度末残高 A	積立額 B	取崩額 C	令和元年度末残高 A + (B - C)
631,838	884,680	591,879	924,639
2 とちぎの元気な森づくり事業			1,102,556 千円
【財源内訳】			
とちぎの元気な森づくり基金繰入金			591,879 千円
国庫補助金等			510,677 千円

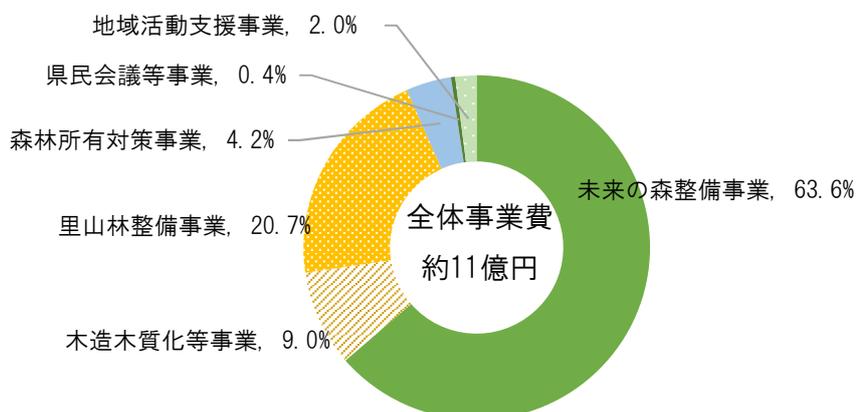
※金額は千円単位未満四捨五入のため内訳が合わない場合がある

ii 計画及び実績

事業名	(単位：千円)	
	計画	実績
1 とちぎの元気な森づくり未来の森整備事業	771,824	701,651
2 とちぎの元気な森づくり木造木質化等事業	120,961	99,462 (20,000)
3 とちぎの元気な森づくり里山林整備事業	273,815	228,764
4 とちぎの元気な森づくり森林所有対策事業	62,042	46,492 (10,434)
5 とちぎの元気な森づくり県民会議等事業	4,912	4,460
6 とちぎの元気な森づくり地域活動支援事業	26,194	21,727
計	1,259,748	1,102,556 (1,132,990)

※ 金額は千円単位未満四捨五入のため内訳が合わない場合がある
 ※ 下段カッコ書き…木造木質化事業・森林所有対策事業：R元からR2への繰越額，計：繰越込み額

【令和元(2019)年度事業費内訳】



4 森林の若返りによる公益的機能の効果

令和元(2019)年度に実施した森林の若返り(植栽)：374 ha による主な効果

水源かん養効果（洪水調節効果）

森林の若返り374haでは、雨水を地中に浸透させ、大雨の時間当たり31000m³の水の流出を調節

1時間あたりプール約78個分にあたる水の流出を調節する働きが高まりました

※ 学校の25mプールは約400m³



60年間の効果額：7.6億円（効果を治水ダムの年間減価償却費で計算）

山地保全効果（土砂流出防止効果）

森林の若返り374haでは、年間6200m³の土砂流出を防止

年間大型ダンプ約1200台分の土砂流出を防止する働きが高まりました

※ 「森林整備保全事業標準歩掛」：10tダンプの土砂積載量は1台当たり5.3m³



60年間の効果額：5.3億円（効果を砂防ダムの建設コストで計算）

樹木等による炭素固定効果

森林の若返り374haでは、CO₂換算で年間1700 tCO₂の炭素が森林に固定

毎年、一般家庭約380世帯が排出する炭素を森林に固定する働きが高まりました

※ 温室効果がスイパントリオフィス：1世帯(2.2人)が年間に排出するCO₂は4,520kgCO₂



60年間の効果額：2.2億円（効果を二酸化炭素排出量取引価格で計算）

5 森林環境譲与税事業の実施状況

とちぎの元気な森づくり県民税と森林環境譲与税については、令和元（2019）年度に使途の整理がなされ、譲与税の使途として、県においては、市町支援又は森林整備促進策に、市町においては、森林経営管理制度に係る間伐等の森林整備又は森林整備促進策に用いられることとなりました。

令和元（2019）年度は、県事業として、森林情報を市町等と共有する森林クラウドシステム導入に向けた基礎調査や市町支援機関の体制整備を実施しました。

(1) 県事業 譲与額 64,056 千円

区分		金額
市町の森林整備支援	森林クラウドシステム導入基礎調査	5,390 千円
	技術的業務に係る市町支援機関の体制整備	1,485 千円
計		6,875 千円

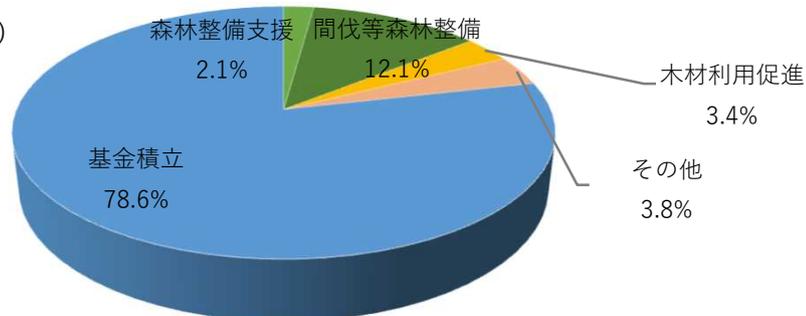
(2) 市町事業 譲与額 256,215 千円

区分		市町数	金額
間伐等の 森林整備	森林経営 管理制度 意向調査（準備含む） ・集積計画等	10 市町 40 %	36,812 千円
	その他	3 市町 12 %	1,936 千円
	小計（※実施市町数は区分計とは一致しない）	11 市町 44 %	38,748 千円
森林整備 促進策	木材利用促進	2 市町 8 %	10,798 千円
	その他	1 市町 4 %	12,276 千円
	小計（※実施市町数は区分計とは一致しない）	2 市町 8 %	23,074 千円
計		11 市町 44 %	61,822 千円

(3) 事業費執行率

	譲与額 A	執行額 B	差額(基金積立) A-B	割合 B/A
県	64,056 千円	6,875 千円	57,181 千円	10.7 %
市町	256,215 千円	61,822 千円	194,393 千円	24.1 %
計	320,271 千円	68,697 千円	251,574 千円	21.4 %

執行額の内訳（県・市町計）



【基金積立金の執行方針】

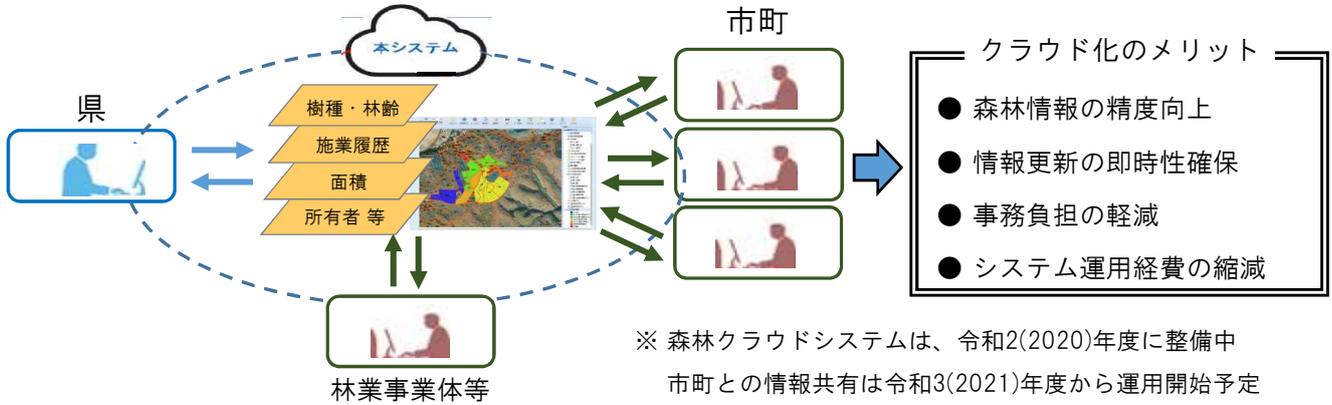
県	森林整備支援等	森林経営管理法に基づく市町による森林整備の支援に備えた積立
市町	森林整備	19 市町 今後増大すると予測される森林経営管理法に基づく市町村自らによる森林整備に備えた積立
	森林整備促進	8 市町 庁舎等公共施設の木造・木質化、木製品配布等

【主な県事業】

■ 市町の森林整備支援

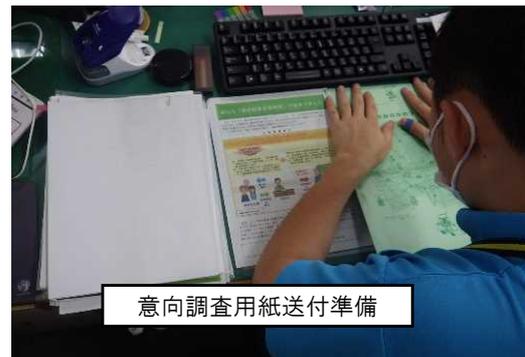
森林経営管理制度に係る市町支援として、樹種、林齢、施業履歴等の森林情報を、県・市町・林業事業体間で共有できる森林クラウドシステムの導入に向けて、標準的な仕様の作成等基礎調査を実施しました。

(森林クラウドシステムのイメージ)



【主な市町事業】

■ 間伐等の森林整備



■ 森林整備促進策

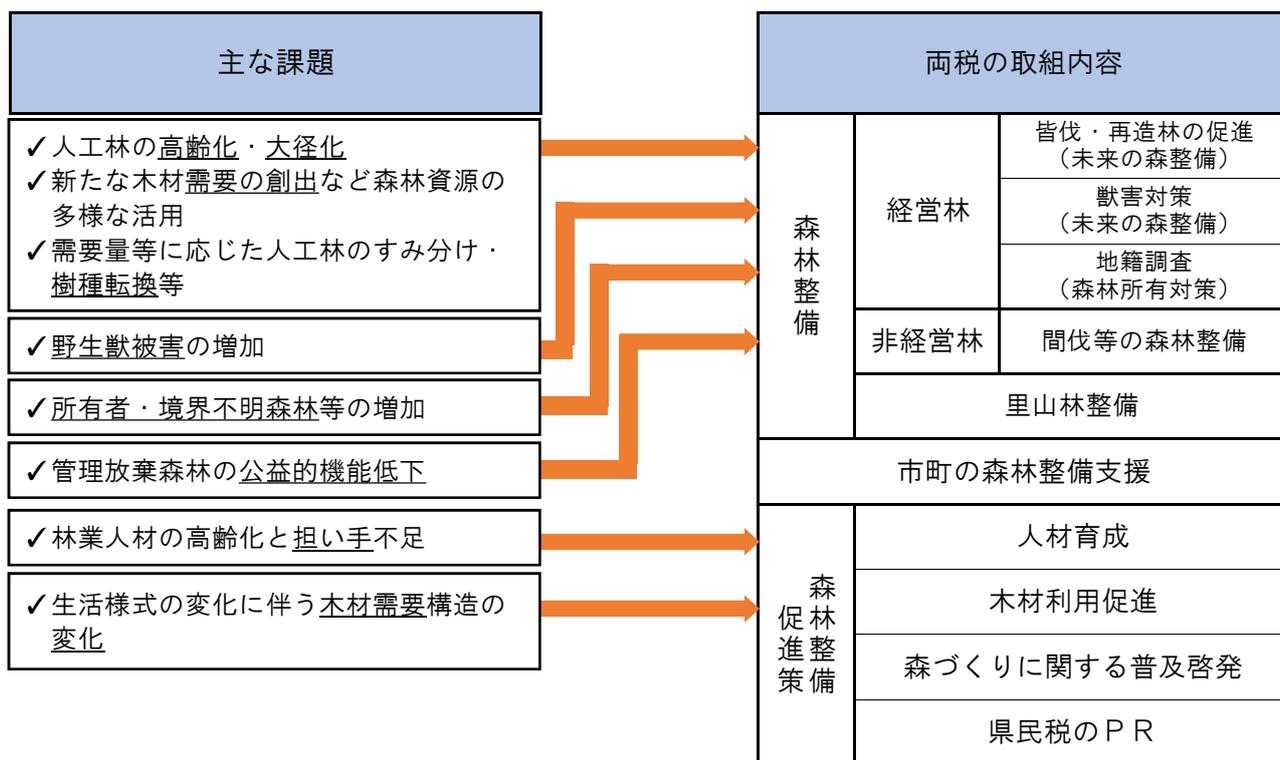


「日光の木」利用促進事業による木材支給（木材利用）

木製ベンチの作製（木材利用）

6 とちぎの元気な森づくり県民税事業と森林環境譲与税事業の一体的評価

i 課題へ対応した両税の取組



ii 両税事業の一体的評価

取組内容			県民税事業	森林環境譲与税事業	
				県事業	市町事業
森林整備	経営林	皆伐・再造林の促進 (未来の森整備)	161,966 千円	-	-
		獣害対策 (未来の森整備)	141,342 千円	-	-
		地籍調査 (森林所有対策)	20,599 千円	-	-
	非経営林	間伐等の森林整備	-	-	11 市町 38,748 千円
	里山林整備		市町	22,655 千円	-
		団体	119,667 千円	-	-
市町の森林整備支援			-	6,875 千円	-
森 促 進 整 備	木材利用促進		99,462 千円	千円	2 市町 10,798 千円
	森づくりに関する普及啓発		11,462 千円	千円	市町 千円
	県民税のPR等		14,725 千円	-	-
	その他		-	千円	1 市町 12,276 千円
計			591,879 千円	県・市町計	68,697 千円